



2022年8月12日

各位

会社名 恵和株式会社  
代表者名 代表取締役社長 長村 恵 氏  
(コード番号：4251 東証プライム)  
問合せ先 取締役執行役員 管理本部 本部長 代理  
兼 財務部長 吉岡 佑樹  
TEL. 03-5643-3783

## 第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異及び 通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

2022年5月13日に公表しました2022年12月期第2四半期連結累計期間（2022年1月1日～2022年6月30日）の連結業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、同じく2022年5月13日に公表しました2022年12月期通期連結業績予想数値及び配当予想を下記のとおり修正しましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年12月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値と実績値との差異 (2022年1月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,593	百万円 2,200	百万円 2,469	百万円 2,069	円 銭 214.98
実績値 (B)	10,213	2,469	3,200	2,600	270.15
増減額 (B-A)	△380	269	730	530	—
増減率 (%)	△3.6	12.2	29.6	25.7	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	7,789	927	1,066	777	88.33

#### (第2四半期連結業績予想数値との差異の理由)

売上高につきましては、光学フィルム事業において、車載ディスプレイ向け製品が好調であった一方、需要の高いハイエンド機種を主とするノートPC・タブレット向け製品が、中国上海地区を中心に発生したロックダウンの影響を受け、一部顧客の稼働率が低下し一時的に販売が減少したことから、前回予想を下回りました。

利益面につきましては、為替相場が想定より急激に円安方向に進行したこと等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも前回予想を上回りました。なお、前回予想の為替レート的前提は、1US\$ = 123円としております。

2. 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正  
(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,105	百万円 4,469	百万円 4,727	百万円 3,731	円 銭 387.66
今回修正予想 (B)	23,257	5,089	5,823	4,578	475.59
増減額 (B-A)	151	620	1,096	846	—
増減率 (%)	0.7	13.9	23.2	22.7	—
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	18,130	3,135	3,467	2,569	289.59

(通期連結業績予想の修正の理由)

売上高につきましては、中国上海地区を中心に発生したロックダウンが解除された6月以降、需要の高いハイエンド機種を主とするノートPC・タブレット向け製品が順次回復していることに加え、車載ディスプレイ向け製品の出荷も引き続き好調に推移していることから、直下型ミニLED液晶ディスプレイ向けの複合拡散板「オパスキ®」等の販売を中心に、概ね前回予想どおりとなる見込みです。

利益面につきましては、第2四半期連結累計期間の業績及び第3四半期以降は各製品分野の中でも利益率の高い製品の販売比率の増加が見込まれること等から、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回予想を上回る見込みです。なお、第3四半期以降の為替レートの前提は、引き続き1US\$=123円としております。

3. 2022年12月期配当予想の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		25円00銭	25円00銭
今回修正予想		50円00銭 (普通配当25円00銭) (特別配当25円00銭)	50円00銭 (普通配当25円00銭) (特別配当25円00銭)
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2021年12月期)	0円00銭	25円00銭 (普通配当10円00銭) (特別配当15円00銭)	25円00銭 (普通配当10円00銭) (特別配当15円00銭)

(配当予想修正の理由)

当社は、企業価値を継続的に拡大し、株主への利益還元を行うことを重要な経営課題と認識しており、必要な内部留保を確保しつつ、経営成績及び財務状態を勘案した上で、利益配当を実施していくことを基本方針としております。

上記方針に基づき、当事業年度の期末配当につきましては、主として為替影響により過去最高の利益水準となる通期連結業績予想の上方修正を実施させていただいたことを鑑み、前回予想の25円00銭に特別配当として25円00銭を加え、50円00銭とさせていただくことといたしました。

※ 上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上